

於て圧倒的多数を以て之を確認した。茲に今回同盟選出代議員並に之を支持する若干の代議員諸君は右大会の決議に着眼せず卒然脱退を表明するに至った。或る我輩は多年事を共にせる同志に對し惜別の情に堪へざるものある事には至つた。然し此は一つの止むを得ざるものありと信ずる。然れども事は單に一地方の一部勢力の減殺に過ぎずして党の全國的大勢に至つては實質上微動をも感せざるのみならず寧ろ党指導精神の確立強化の爲更に一段の核充の契機をなしたりせざるものと確信するものあり。我等は益々その結束を固くし党の階級性を嚴守し民衆政治を確立の爲め一途邁進することを誓ふるものあり。

昭和四年十二月十日

社会民衆党第四回全国大会

別紙(五)

昭和四年度決算報告

(昭和三年十月自 昭和四年九月至)

歳入計 五九七一・八九〇
 歳出計 五九二七・七三〇
 差引残高 四四・一六〇
 内 譯

収入之部

党費 四〇・一一二〇〇
 中央委員維持費 六四五・八〇〇
 寄附金 一一一・八〇〇
 代議士党費 九〇〇・〇〇〇
 マーケット 二二・三八五〇
 雑収入 六九・二四〇
 合計 五九七一・八九〇
 支出之部 一〇九一・八一〇

総務部